

Hello from new ALT !
— 新しい ALT からこんにちは ! —



ティーガン・スコット
 Tegan Scott

オーストラリア出身

皆さん、初めまして！
 皆さんとお会いできてうれしいです。

私の名前はティーガン・スコットと申します。私は JET プログラムの ALT として松浦にやって来ました。オーストラリアのタウンズビル市出身です。

タウンズビル市は松浦の姉妹都市マツカイ市から北に車で 4 時間の所にあります。人口は約 19 万 6 千人で、主な産業は金属の精製、観光、教育です。また、タウンズビル市はオーストラリアで最初の日本領事館が設置されたところという興味深い歴史もあります。姉妹都市は福島県のいわき市です。

私の趣味は、洋裁、編み物、刺繍、クロスステッチをすることです。

オーストラリアの大学では、法律と日本語を専攻し、4 年間弁護士として働いていました。

日本には、15 歳の時に一度来たことがあって、その時にとっても楽しい経験をしたので、ぜひもう一度来て、この国のことをもっと知りたいと思っていました。

私は、松浦のたくさんの学校を訪問して、たくさんの子どもたちと出会えることを楽しみにしています。そして、松浦にいる間に日本語をもっと上手になって、長崎県や日本中の興味深い場所にもたくさん行ってみたいと思っています。皆さん、どうぞよろしくお祈りします。



**図書館の
 おすすめ本**

市立図書館
 ☎ 0956 - 72 - 4677

松浦市ホームページで
 「松浦市立図書館」を検索



『ラクダのまつげはながいんだよ
 日本の子どもたちが詩でえがいた地球』
 長田 弘 / 編著 講談社

世界の各地で暮らす日本の子どもたちが詩を書きました。海外での貴重な体験、それぞれの場所で見えたこと、感じたこと、考えたことが素直な言葉で綴られています。詩に対する長田さんの言葉も温かで、優しい気持ちになれますよ。



『鳴く虫の科学 なぜ鳴くのか、どこから音を出すのか、そのメカニズムを探る』
 高嶋清明 / 誠堂新光社

鳴く虫の体のしくみ、音の秘密、くらし、どれくらい知ってまか？この本を開くと私たちの知らない世界が広がっています。虫の声が聞こえてきたら、その秘密を探ってみましょう。観察や飼育にもぴったりの本です。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どもたちのお気に入りの一冊を紹介します



調川町下免の久保川悠汰くん (4 歳)
 と沙優ちゃん (2 歳) と花渚ちゃん (0 歳)

【お気に入りの本】

『こわーいはなし』 せなけいこ / さく 鈴木出版

『まどからおくりもの』 五味太郎 / 偕成社

【お母さんからひとこと】

毎日寝る前には 1 冊本を読むようにしています。読んで読んでと寝る前になると自分で本を選んで持ってきます。特に気に入っている本は「はらぺこあおむし」。それから「きんぎょがにげた」や「ねないこだれだ」も大好きです。これからも本を読む習慣は続けていきたいと思っています。本が好きの子に育ってほしいです。

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館もお待ちしています！



■ 444 日前 カウントダウン電光掲示板設置

9月1日現在で、来年開催する長崎がんばらんば国体なぎなた競技会まで“412日”となり、残すところ1年と1カ月になりました。市では、8月8日にカウントダウンボードを旧松浦バスセンターに設置しました。市民が何らかの形で国体に参加する市民総参加を目指しています（運営ボランティア・イベント参加・ポスターコンクール出品・ロコミなど）。



■ がんばれ “凜心長崎” スポーツ祭東京 2013

9月29日から10月1日までの3日間、東京都港区で第68回国民体育大会なぎなた競技会（愛称：スポーツ祭東京2013）が開催され、我が長崎県代表“凜心長崎”が出場します。松浦市の選手も出場予定ですので、皆さんの応援をよろしくお願いします。



■ JOC ジュニアオリンピックカップ 第21回全国中学生なぎなた大会 で敢闘賞（ベスト16）！

川田そらさん（今福中学校3年）が7月21日に岐阜県メモリアルセンターで開催された第21回全国中学生なぎなた大会で敢闘賞を受賞しました。川田さんは小学校3年生からなぎなたを始め、同大会への出場は今回が3回目です。

川田さんは大会の感想を「全力を出せました。目標はベスト8だったので少し悔しさもありますが、敢闘賞を受賞できたことはとてもうれしいです」と話しました。



わたしたちの郷土

— 90 巻 —

中世の松浦（56） 鷹島海底遺跡

鷹島海底遺跡の発掘調査に関しては、長崎県教育委員会が5カ年計画で元軍の沈没船を把握することにより、元寇の実態を明らかにし国史跡の追加指定の基礎資料を作成することを目的として、本年8月19日から床浪港東側にて約10,000平方メートルの範囲が調査されました。この調査では、10人程度が海底に潜り、元軍の遺物がどのように分布しているのか目視によって確認していく作業を行いました。50メートル×200メートルの調査区にロープを張ってその範囲を丁寧に調べていきました。調査区内では陶磁器などの遺物を確認しましたが、遺物の引き揚げは行わずに、発見した位置を写真や衛星利用測位（GPS）で記録していきました。

また、本年10月には科学研究費補助金を活用して、琉球大学の研究チームにより、海底探査結果を基に、学術的に新たな沈没船の発見に向けて確認調査が実施される予定です。調査場所は、昨年6月と10月に松浦市と共同で調査した国史跡「鷹島神崎遺跡」指定地内の元の軍船発見地点にほど近い場所です。

この2件の鷹島海底遺跡の調査には、松浦市としても積極的に参加・協力しております。



▲赤い範囲は鷹島海底遺跡の範囲
●は長崎県調査地点 ●は琉球大学調査予定地点